

保護者各位

認定こども園 舞戸保育所  
園長 吉田 諭大

## 来年度の園の運営方針について

日頃より当園の運営には何かとご協力を賜り厚く御礼申し上げます。保護者の皆様のおかげをもちまして、今年度予定されていた全ての教育・保育事業を無事に終えることができました。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

さて、来年度の園の運営方針について下記の通りお知らせしますので、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

## ●来年度のクラス編成について

- ◎0・1・2歳児クラス(現つくし組)を、2歳児クラス(つくし組)と0・1歳児クラス(もも組)に分けます。(※ももは、実桃ではなく、花桃の方です。)
- ◎5歳児クラスと4歳児クラスの教育・保育を同じ保育室(現つばき組)で行います。

上記を踏まえ、クラス編成は下記のようになります。

年齢	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	計
クラス名	つばき組	さくら組	すみれ組	つくし組	もも組		54
園児数	11	6	14	9	6	8	
	17				14		
保育室	現つばき組		現さくら組	現すみれ組	現つくし組		

近年、低年齢からの入園が増えており、面積の関係上、1つの保育室で0・1・2歳児をまとめて保育を行うのが難しくなっています。

また、0歳児の赤ちゃんにとっては静かな空間で睡眠を取ることができない、また、活発な1・2歳児にとっては自由に動き回れない窮屈な環境となっています。平成30年度は年度開始時点で0・1・2歳児合わせて23名の予定となっており、途中入園の予定もあるため0・1歳児クラスと2歳児クラスに分けて、別々の保育室にすることにより改善を図ります。

それにより、保育室が1つ不足しますが、来年度のさくら組の人数が6名と少ないため、つばき組11名と同じ保育室内で教育・保育を行います。面積・設備的には十分に余裕がありますし、年齢の異なる子どもでクラス活動を行うことによる利点は大きく、年下の子は年上の子を見て憧れを抱きながら学び、年上の子は年下の子のお世話をしたり、教えたりすることによって自信をもち、思いやりの心が育つため、ご安心くださればと思います。

なお、2歳児クラスの保育室の環境については、完全に整うまで少々のお時間をいただきたいと存じます。

## ●行事について

- ◎平成30年度は、作品展・バザーの開催を休止させていただきます。
- ◎一部の行事を簡素化させていただく可能性があります。

舞戸保育所ではこれまで毎年、子どもたちの感性や表現力を育み、その成果を発表する機会として、「作品展」を行って参りましたが、その準備には約一ヶ月程を要し、製作責けの日々を過ごすことが園児や保育者の負担となっています。製作中は、担任と園児が一对一になって指導を行わざるを得ないため、その他の園児への指導が行き届かなくなってしまいます。また、保育室にこもりつきりになるため、外遊びや運動をする機会が減ってしまいます。

また、同時に開催されている「バザー」についても、近年はお手頃さんの数が少なくなっており、父母の会からも運営が難しいとの声が上がっております。

そのため、来年度は試験的に「作品展・バザー」を一旦休止し、その分、普段の教育・保育の中で子どもたちの豊かな感性と表現力を育ていけるよう計画していきたいと思っております。製作物はその都度園内に展示する機会を設け、保護者の皆さまにご覧いただきたいと思っております。

また、平成29年度から、保育者の新しい研修体系である「保育士等キャリアアップ研修」が始まり、保育教諭が研修を受講するために遠方へ出張しなければならぬ機会が多くなっており、勤務体制も保育者同士で調整を行いながら何とかやりくりしています。加えて、幼保連携型認定こども園で行う教育・保育の内容を定めた「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が平成29年3月に改訂・告示され、平成30年度4月から施行されるため、それについて理解を深める自己研鑽の時間も必要となっています。

TVや新聞でも報道されていますが、保育者の仕事は激務です。常に行事の準備に追われ、自分の時間を犠牲にしながら、日々の教育・保育を行っている状況です。保育者が子どもと触れあう時間を増やし教育・保育の質を高めるため、また、保育者の労働環境を改善するため、一部の行事を簡素化させていただく可能性があることをご了承ください。